

令和8年2月12日（木）定例記者会見録
「令和8年3月市議会定例会議案等の説明にかかる記者会見」

大久保市長

いよいよ来週から3月定例市議会が開会いたします。当初予算案も含めて、たくさんの議案を提出する予定です。

その議案の大まかな説明と、近況の報告をさせていただきます。

第3次諫早市総合計画、諫早市のこれからの10年の方向性を定める最上位の計画です。

去る2月6日に総合計画審議会から答申をいただきました。

その答申案に基づく総合計画案を本会議に提出する予定です。

将来都市像は、来てよし、住んでよし、育ててよし！「輝く諫早 夢かなうまち」

諫早市の豊かな自然と都市機能が調和した優れた生活環境、また、子育て・教育の充実など暮らしのバランスの良さを、来てよし、住んでよし、育ててよし！と表しています。

また、誰もが未来へ希望を抱き、夢を実現していけるまちであり続けたい、市民が愛着や誇りを持つということ、まさにこの諫早市が県央地域でさらに発展した輝きを放っていくことで、「輝く諫早 夢かなうまち」と表しています。

10年後の人口目標は、今日の新たな産業団地の整備、雇用創出、新しい都市計画制度の運用による定住人口拡大、子育て支援の充実などによって、人口減少に歯止めをかけ、おおむね13万人を維持するとしています。

長崎ミュージックフェスマラソンがいよいよ開催まで1年を切りました。

去る1月25日、大会開催1年前イベントとして、フルマラソンコースを活用した第6回諫早・雲仙ウルトラウォーキングが、1,000名を超える参加者を迎え、盛大に開催されました。

当日は、^{ファンキスト}FUNKISTの^{そめやさいごう}染谷西郷さんのステージやマルシェなど、ウォーキング以外のイベントも実施し盛会でした。

3月1日に東京マラソン2026が開催されますが、それに先立って2月26日から3日間、東京マラソンエキスポが東京ビッグサイトで開催されます。

そのエキスポに、長崎ミュージックフェスマラソン実行委員会も出展してPRを行う予定です。

道の駅251いいもりじゃがーロードの報告をします。

開駅して3か月がたちましたが、1月末までに約16万人が道の駅を訪れました。

従って、想定年間来場者数の37万人を優に超えると考えています。

来たる2月21日には、この道の駅で移住者交流会を開催する予定です。

令和8年2月12日(木)定例記者会見録
「令和8年3月市議会定例会議案等の説明にかかる記者会見」

今後もさまざまなイベントの実施を通してにぎわい創出に努めていきたいと考えています。

次に、ネーミングライツで、スポーツパークいさはやにスケートボード場がありますが、愛称命名権を売却するというので、本日午後その審査会が実施されます。

ネーミングライツのパートナーが決定後、速やかに契約締結式を開催する予定です。

近況の報告は以上です。

3月議会の提出案件について、報告案件が3件、議案が29件の合計32件です。

議案の中で、条例関係が11件、予算関係が14件、その他として、先ほどの第3次諫早市総合計画、あるいは諫早市の過疎地域持続的発展計画など4件です。

私の方からは、予算案件について説明させていただきます。

まずは、令和7年度3月補正予算案です。

議案第18号ということで、先般の臨時議会で、物価高騰対策第1弾の議決をいただきましたが、今回は第2弾ということで、それも含めて、さらには学校施設の防災機能の強化、あるいは農産物の集出荷の効率化への支援などの事業を盛り込んでいます。

額としては23億7,900万円です。

物価高騰対策は、大きく生活者支援と事業者支援に分けています。

その生活者支援の中に新規事業が2つ盛り込んであります。

1つは自治会集会所の省エネ設備更新支援事業です。

自治会集会所のエアコンやLED照明、上限150万円の支援をいたします。

それぞれの家庭の省エネ家電購入支援事業、これも新規事業ですが、これは皆さま向けに家庭のエアコン・冷蔵庫・テレビ・給湯器・LED照明などに支援いたします。

事業者に対する支援としては、例年のように福祉・介護・保険関係、農林水産関係ということで、特に農林水産関係では、新規あるいは拡充事業として、かなり手厚くいたします。

いよいよ令和8年度ということで、諫早市一般会計予算 令和8年度当初予算、この予算の名前は、輝く未来へ翔け出すチャレンジ予算。

予算の総額は703億2,000万円、これは過去最大ですが、計上させていただいています。

当初予算のポイントとしては、諫早市の新しい都市計画の実現、子育て支援や教育環境のさらなる充実、長崎ミュージックフェスマラソンの初開催など、市民が未来へ希望を抱き夢が叶うまちとなるよう積極的に取り組む、輝く未来翔け出すチャレンジ予算です。

国の方が責任ある積極財政ということですが、諫早市では節度ある積極財政ということ

令和8年2月12日（木）定例記者会見録
「令和8年3月市議会定例会議案等の説明にかかる記者会見」

す。

私が市長に就任して、市も企画と財務を一緒にした組織の中で、政策と財政を一体として進めてきました。

資料として、市税の推移(決算ベース)ですが、令和3年から右肩上がりに市税が増えています。

その間に、西九州新幹線の開業があり、企業誘致が好調にいき、民間の投資が活発になっていきました。

子育て支援3本の矢として、1期4年の間に公約を実現させていただきました。

節度ある積極財政の効果が顕著に出ているのではないかと考えています。

人口及び納税義務者数の推移は、どうしても人口は微減ということで、これはもう日本全国そうですが、しかし一方で、人口は減少しているものの個人市民税の納税義務者は増ですので、子育て世代・現役世代を中心に、雇用の創出や住環境の整備や子育て支援の充実というような、節度ある積極財政の政策が、功を奏しているのではないかと考えています。

一般会計当初予算の概要ということで、歳出予算、普通建設事業費が増えています。

小長井地域の義務教育学校整備のための増です。

補助費等が逆に5.1億円減っているのは、県央県南広域環境組合の負担金で、第2期のごみ処理がいよいよ新年度からスタートしていきます。

この大きな事業が一段落したということです。

人件費については、全国的にもそうですが、増というような状況になっています。

主な事業ということで、新年度の当初予算、新規事業が9事業、拡充事業が8事業と計上していますが、整理の仕方は第3次諫早市総合計画案の施策体系に沿って整備していますので、チャレンジできるまち、産業活力を生み出すまち、人を育む学びのまち、誇りと賑わいのあるまち、持続可能なまちということで、整備しています。

その中で、チャレンジできるまちということで、高校生世代の福祉医療費の支給事業を拡充するということで、令和8年10月の診療分から高校生も現物給付したいと考えています。これまで就学前乳幼児・小中学生分を現物給付でしたが、高校生も今度は現物給付したいと考えています。

人を育む学びのまちに小長井地域義務教育学校整備事業ということで、小長井地域の3つの小学校が今年度4月統合して小長井小学校でやっていますが、令和10年4月からは義務教育学校の開校を目指すということで、その校舎また屋内運動場の建設費用です。

債務負担行為も含めてということで、これを計上させていただいています。

かなり予算案の中の主な事業も盛りだくさんなので、ご覧になっていただきたいと思えます。